

組立て式集会用テント取扱い説明書

2x3間用

C箱に柱6本、軒材3本、D箱に長梁3本、軒材3本、E箱に短梁4本、峰材2本/1対が梱包されています。開梱後各部材を下図及び写真を参考に地面上でイ～トの順に組立ててください。

注1: 4辺の梁を柱頭に挿す時4隅がほぼ直角(長方形)に成る様に柱位置を調整して下さい。

注2: 最後に峰材組立の際は、端部分岐金具の片側を軒材上端に挿して後、

もう一方は軒材を柱頭から一旦抜いて分岐金具に挿入後柱頭に挿し戻して下さい。

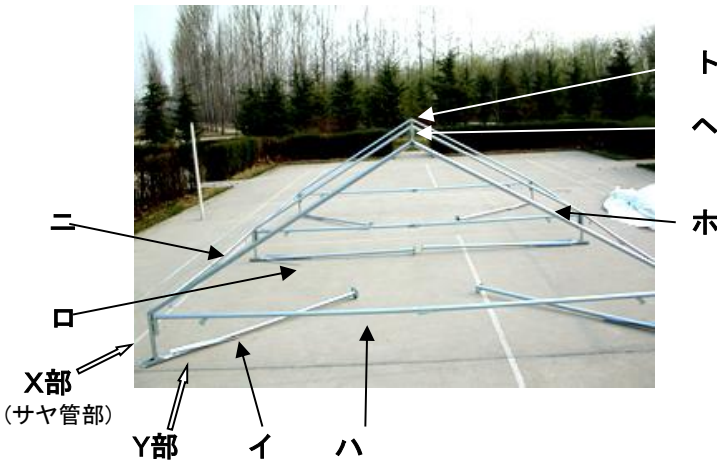
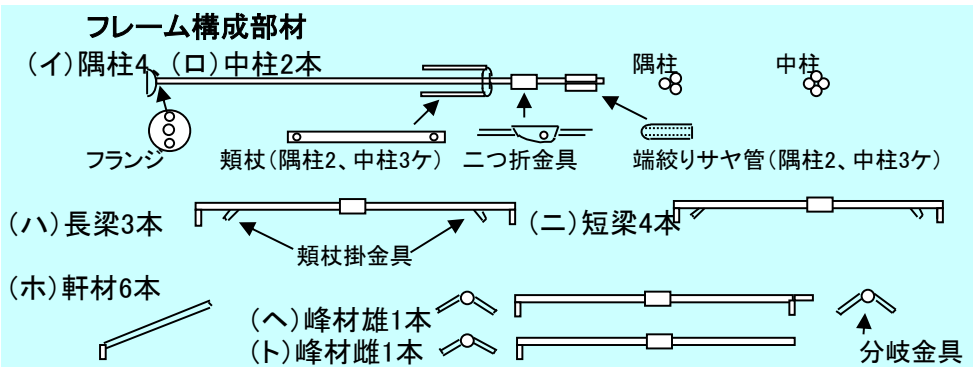
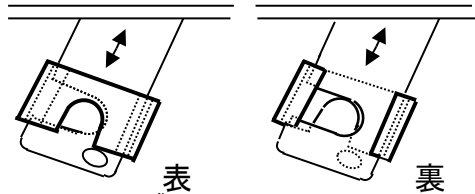
注3: 梱包ダンボール箱での保管はしないで下さい。湿気により変色(白錆現象)の恐れがあります。

写真の状態で大幕を掛け、3人で左右3脚ずつ順に柱を立て、

頬杖を総て掛けて下さい。梁材の頬杖掛金具には右図の如きワンタッチ抜け止め機構が付いています。

頬杖をかけた後サヤが自重で下がりますが総てがロックされたかどうか確認して下さい。

(梁を組み付ける際左図サヤの表裏一梁の左右一を気にする必要はありません)



⚠️ 安全上の注意事項

1) 作業中、取扱い中は必ずヘルメットと軍手を着用してください。

特に写真X部は柱を立てた状態で取扱い中、蝶番部で折れて頭を打つ危険性があります。

地上での組立て時以外は必ず首折れ部を奥迄キッチリ嵌め込んで取扱い、運搬、保管して下さい。

また、頬杖や各折畳み部での指詰めにも十分ご注意ください。

2) 柱を立てる時と畳む時は片手で必ず写真X部を掴んで、他の手でY部を持って立てまたは畳んで下さい。

頬杖の掛かってない状態で梁は絶対に持たないで下さい。スッポ抜けて大変危険です。

3) 必ず充分な量のウエイト又は杭を用いてテントを固定して下さい。

4) 連棟設置は避けて下さい。突風時の被害が甚大になります。

以上